

## 和文誌投稿Q & A

Q：査読システムや投稿された論文等データのバックアップ体制はありますか。

A：査読システムは、防犯、防火、防災対策に優れ、耐震設備と空調管理の行き届いたIDC（インターネットデータセンター）にサーバーが設置され、高速バックボーンで快適なサーバー環境で運用されています。投稿（アップロード）された論文原稿等のデータおよび査読や編集の過程で生じたデータのバックアップは、多重化、複数拠点でデータ保全されています。また、万が一サーバーに障害が生じた場合に備え、サーバーのバックアップも取られています。

Q：査読を経て原稿の採否決定までは、だいたいどのくらいかかるのでしょうか。

A：投稿論文は何回か査読・修正を繰り返して掲載に至ります（1回の査読で採否が決まることは少ないです）。投稿から掲載までの期間は、論文により経過が異なるので、はっきりした期間を申し上げることはできません。これまでの例を見ますと、約1年が目安かと存じます。

学会誌の掲載論文のそれぞれのタイトルページの下に、受付日と受領日が記されています。これは新規投稿から最終論文受領までの期間ですのでご参考までにご覧ください。

Q：1回目の査読結果はどのくらい待てばよいのでしょうか。

A：論文により状況が異なりますので、はっきりした期間を申し上げることはできません。なるべく速やかにお返しするように努力しておりますが、3ヶ月以上かかってしまうこともあります。

Q：英文抄録のnative checkとは？

A：英文抄録は英語を母国語としている方のチェックを前提としています。チェックリストへ名前を書いていただく目的は「誰がチェックしたか」ではなく、実際にチェックをうけているかどうかを確認するためです。

Q：図表の取扱いについて、1枚にいくつか表をまとめることは可能ですか？

A：図表は大きさに関わらず、1ページに図表1枚として下さい。また、図表にはそれぞれ通し番号をつけてください。

Q：半分の大きさの図表を1枚入れる場合でも、原稿枚数は16枚以内としなければなりませんか？

A：図表を入れた場合の文字換算は、最大の大きさの図表であれば文字数1000字、半分の大きさの図表であれば500字、4分の1の大きさの図表でしたら250字、として下さい。

Q：チェックリストNo. 23「原稿は氏名・所属・倫理委員会名称（承認番号）・謝辞・利益相反・著者資格、ほか投稿者を特定できるような事項を取り外してある。」となっていますが、原稿の中で倫理的配慮の箇所に大学名を記載することは問題ないでしょうか。

A：大学名と研究内容から投稿者が特定されることもありますので、大学名は入れず「筆者の所属する大学の倫理委員会…」等、表現を変えてください。

## 和文誌投稿Q & A

Q：チェックリストNo.18について、抄録の目的・方法・結果・結論は、項立てはしていなくても、内容が網羅していればいいでしょうか。

A：原則として、抄録は目的、方法、結果、結論の項目をつけて、簡潔に記述することを求めています。

Q：学会誌に掲載された自分の論文を、報告書等に転載することは可能でしょうか。

A：学会誌に掲載された論文の著作権は日本看護科学学会に譲渡されておりますので、転載許可を得る必要があります。本会事務所まで転載許可願をご提出ください。また、掲載する際には出典を明示してください。

Q：機関リポジトリなどで公開されている学位論文を投稿することは可能ですか？

A：投稿論文の内容は、他の出版物（国の内外を問わず）にすでに発表あるいは投稿されていないものに限ります。従って、インターネット上で全文公開されている内容は、すでに発表されたものとみなし、査読の対象としません。